

第17号

平成20年6月

●スペースパークボランティアの会 ●

S.P.Vつらん

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

星のソムリエ誕生☆

137億年の宇宙の歴史、星にまつわる神話や伝説……資格取得にあたって講座で学んだことを今までの経験にプラスして星空のすばらしさ、本物を見る感動そして宇宙の浪漫をより多くの人々に伝えたいと思います。

夜空に煌めく星たちをテーブルに埋め尽くすごちそうにたとえたら、その料理を引き立たせるとっておきのお話をチヨイスしてさしあげましょう。

(挿 芳光)

星空案内人資格認定によせて

星空案内に必要な知識をこれからも幅広く深めて案内人として、星空の楽しみ方や写真撮影などみなさんをご案内できればと思います。

まずは、駅前観望会や星の宅配便などで実績を積んでいきます。

(田辺 信作)

今夜のお客様は家庭と仕事に疲れストレスで不眠症の40代の男性。お客様へのお勧めは、うしかし座のアルクトゥールスなどはいかがでしょうか?

37年前の光になっております。オレンジ色の暖かい光の中に、母の背中で安心して眠る幼子になったあなたの姿が見えるでしょうか?どうぞ今夜はこの光に身をゆだねてお休み下さい。私は星のソムリエ、中高年担当です。

(齋藤 正一)

まだまだわからないことばかりですが、みんなに少しずつ伝えていきたいと思います。よろしくお願いします。

(飯泉 良江)

天体望遠鏡で初めて見た土星の感動を今も覚えています。駅前観望会に集まった人たちの様子に、昔の自分を見ます。今宵のお勧めの星座に神話等をプラスして星空の魅力を伝えていきたいと思います。星に願いを…

(星 ゆかり)

準案内人に疎じることなく、一人前の星空案内人を目指して勉強していきます。天気が悪いと欠席していた“星の宅配便”ですが、雨の日のメニューと一緒に楽しい時間を過ごせたらいいですね!

(降谷 節子)

準案内人として今以上に星座や時期ごとに見られる現象などを覚え、それを見に来てくれた方々に上手に説明するなどして経験を積み、今年中には正案内人になれるように頑張りたいです。

(降谷 尚樹)



スペースパークボランティア募集!

※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。

郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課

TEL024-936-0201

案内 サービス グループ



19年度ボランティアの案内サービスグループは、「昔懐かし紙芝居」と「昔遊び」をお客様に楽しんで頂きました。

「昔懐かし紙芝居」は、郡山市にちなんだ昔話の紙芝居を多く選んで上演したのが、良かったのか、思いのほかお客様には好評がありました。

「昔遊び」は、けん玉・輪投げ・相撲取りゲーム・お手玉・あやとり等に人気が集まりました。

子供たちは遊び方を、ボランティアやお父さん・お母さんに教えてもらって、何回も一生懸命に挑戦して…やっとと出来ると、有頂天になって喜んでいました。

子供を中心にお父さん・お母さんそれにおじいさん、おば

あさんも加わって家族みんなで遊ぶことができる輪投げや、お手玉で、楽しんでいたご家族もいました。

テレビゲームなどでひとりで遊ぶよりも、家族みんなで遊ぶことが出来る昔遊びが、こんなにも家族を結びつけることを知って驚きました。

今回はお手玉に興味を持つ女の子が多かったが、次回には「昔遊び」に何を加えたらよいかを考えて置かなければいけないと思っています。

(柳沼 賢一)



天文 グループ



我々SPVにとって最大のイベントと言っても過言ではない「ボランティアまつり」が3/22・3/23大盛況のうちに幕を閉じました。両日ともまだ三月だというのに汗ばむ程の好天に恵まれ、我ら天文ボランティアの捧さんが持ってきてくれた太陽観望用の望遠鏡が大活躍。

おやごさん達にもお子さん達にも大人気でしたが、残念ながら午後には太陽が柱に隠れてしまい、惜しまれながらもお役御免となっていました。うーん残念。

そのほかにも星空の写真を切り取って作る「工星(コースター)づくり」や恒例の「天体パズル」、そして新たにお目見えした「スペースイライラ棒 太陽系判」も好評で、パズルとイライラ棒の受付をしていた私は目の回るような忙しさでした。しかしパズルやイライラ棒をしたいときのお子さん達の笑顔や「ありがとう」の一言は何よりも嬉しかったです。しかし、やはり本領は星空。第一期の「星のソムリエ」である

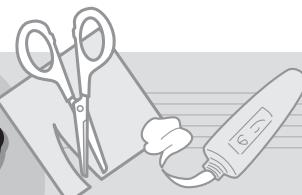
捧さんと田辺さんの「プラネタリウムを使った星空案内」は常に満員御礼。整理券が無くなってしまい残念ながら参加できなかったお客様もいたとか。やっぱりソムリエは違うなあ。

かく言う私も星のソムリエを目指してただいま勉強中。神話などの座学でしか知らない星の世界を実物で説明するために、参考書や辞書とにらめっこをする日々を送っています。来年には私が星空案内をしているかもしれません。ごうご期待!!

(鈴木 崇展)



科学 グループ



科学(工作)ボランティア活動の「和」

私の活動の「醍醐味」は何と言っても、科学館の来館者一人一人と直接的に対面をして自らも直感できることにあります。

子供たちが興味を持って「ニコニコ」と微笑んで、わたしに近寄ってくれることにあります。科学ボランティア活動を3年間行ってみて、いつも迷うところは準備と段取りです。

どのくらいの材料を準備しておこうかな?

どのように伝えようかな?

どの様にすればわかりやすく、作れるのか?いつも迷って

います。

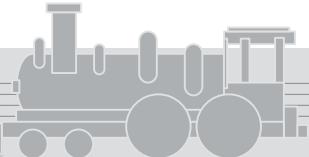
実際工作を作つて見せてから来館者の反応を直視し、喜んで体験できるように「ほめる

言葉かけ」を心がけております。そして、一期一会を大切に、訪れる方に感謝しております。そして私のボランティア活動の和としております。

(遠藤 悅子)



鉄道ジオラマ グループ



趣味と道楽は金喰虫(?)

皆さんご存じのとおり私の趣味[道楽]は、鉄道模型です。社会一般的に鉄道マニアとは、極めてオタクでネクラであると見られていることは紛れもない事実であり、異邦人であることは私も認めているところであります。

昨年11月末、仙台市泉区に模型量販店がオープンしました。大幅割引で全国的に有名な店なので妻を連れてそれなりに購入をしてきました。帰りの車中、妻はオタクでネクラの人をじっくり観察できたと言うのです。目つき・風貌・容姿・服装等一目で一般社会人とは明らかに異様な雰囲気の人がいることが分かったと言うので「俺もそうなのか。」と聞いたところ「この店にいた人たちとは違うけど余り差はない。」とのこと。趣味や道楽は、また金喰虫であることも否めない事実であります。

皆さんも私の道楽にどれだけ投資してきたか興味がある

と思います。イベント等で鉄道模型運転会の際、観客から必ず聞かれることは「この模型にどれだけのお金が掛っているのか。」との質問です。鉄道の鉄とは、金を失うと書きます。(現在、JRでは失の字の上はでておりません)鉄道模型に墳まるとき金を失うことになります。

Nゲージにのめり込んで以来、約40年間毎年投資し続けております。たぶん、数百万円にはなるでしょう。鉄道模型を始めたのは小学校3年生。亡き祖父に買ってもらってから50数年、飽きもしないで現在に至っております。この模型、現在のNゲージに比べると極めて玩具的ではありますが、今も実家に鎮座しております。

今後も趣味に惚れると惚けにならないをモットーに鉄道模型を継続していく所存であります。 (渡辺 知彦)



天ボラの

知識泉^⑯

●星を見ましょう。

郡山も市街地が拡大して、夜空も明るくなり、明るい星しか見えなくなってきた。駅前観望会でも北極星がようやく見える程度です。観望会での出来事ですが、2、3人の若い方々が土星を望遠鏡で見て、土星の輪を初めて肉眼で見て非常に感激していました。また、小学校4年生の理科の授業で聞いて、星を見たことがない子が何人かいて、月も見たことがないと言います。探査船が惑星に行く時代で、土星や火星の映像がニュースで流れます。でも、自分の眼で確認できます。

(齊藤 淳子)



内田博士の 魂の叫び!! ⑪『なくてはならないもの』

街を歩く人々を眺めると、服や靴・カバン・眼鏡等々結構お洒落に気を遣っている人が淡々と無表情で行き交うのだが、空から一滴の水が落ちてきたことを察すると、例外なく同時期に皆、手のひらを「表」にして上を見上げ、中には歩みを速める人もいたりする。実はここからが面白い。次第に落ちてくる水の量が増えてきたとなると、目的地に向かうことが目的なのか、取り急ぎ濡れないことが目的のかが他から見ては判らないほど、やれやれと身なりなど構わず走っている。やがて、傘をさした人が登場し、次第に街は傘のパレードになるのだが、不思議と「傘」に洒落た気やこだわりを持っている様子を覗くことはまずないと言ってよい。取分け多くの人は、無機質な透明のビニール傘を好んで使用している。

異国や、近所から来た人であるならば理解出来るのだが、日本とりわけ自分の住んでいる地域に雨が多い少ないのか、時期的にどうなのかは承知しているはずなのに、「傘」にこだわりを持つ人は意外に少ないので寂しい。なくてはならないものなのに…、と考えたりする。

雨が降らなければ、農作物に深刻な影響を与えることは百も承知なのだが、やはり雨は嫌い。洗濯物は乾かないし、気分がなぜか憂鬱になったりするし、ましてや自分が屋外にいるときは濡れるし、汚れるし、酸性雨を浴びたくないし…なくてはならないものなのに…。

今年は梅雨に備えて、素敵な傘を捜して鬱陶しい時期を楽しみたいと思う今日この頃でした。

今号のきら星☆さん 天文グループ 鈴木光雄さん

私は、子供の頃から星空を眺めるのが大好きでした、星空を何時間もあきずに眺めて宇宙になにか夢をはせていたようです。(どんな夢かは覚えていません)

あれから30余年「きら星」ならぬ「中年の星?」となつた今でも星空を眺めるのが大好きで、ぼんやり眺めて悠久の時を過ごし日常生活の雑念を一時忘れていました。

現在、天文ボランティアとして駅前観望会や、星の宅配便のお手伝いをさせて頂いております。観望会では参加された方々への星空の案内や天体望遠鏡を使って月・惑星等を

観望していますが、初めて自分の生れ月の星座を実際に見たときの喜び・初めて月のクレーターを見たときの驚き・初めて土星の輪を見たときの感動…の表情を子供たちはもちろん大人の方々までもが見せてくださり大変やりがいを感じております。

今後、星空観望会に参加された皆さんが、宇宙に少しでも興味を持ち、私のように星空を眺めることが好きな人が増えることを願いつつボランティア活動を続けていきたいと思います。



イベント情報


Event Information

サイエンスフェスティバル

- 7/19(土)~21(月) 10:00~17:00
- 8/9(土)~17(日)

スペースパークの科学のお祭り「サイエンスフェスティバル」にS.P.Vも登場! 夏休みは私たちと一緒に科学をおもいっきり楽しんじゃいましょう! 作って楽しい科学工作と、摩訶不思議(?)な科学実験で、みなさんのご来館をお待ちしています!!

S.P.V 活動情報(～9月)

案内サービス “昔懐かし”紙芝居

◇平日11:30～、土日祝11:30～、14:30～(約15分)☆随時実演

鉄道ジオラマ ジオラマショー案内

◇平日11:00～のみ、土日祝11:00～、15:00～(約20分)

科 学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00～15:30(展示ゾーン入館者)

天 文 駅前観望会

◇6/14(土)19:30～20:30
◇7/12(土)19:30～20:30
◇8/ 9 (土)19:30～20:30
◇9/ 6 (土)19:00～20:00



※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

平成20年度 スペースパークボランティア登録状況

今年度もスペースパークボランティアの会と郡山市ふれあい科学館ではスペースパークボランティアを募集、13名の方々が新たに仲間に加わりました。登録状況は以下のとおりです。

・案内サービスグループ	28名	・鉄道グループ	25名
・科学グループ	33名	・天文グループ	29名
			計 115名

今後もスペースパークボランティアを募集していきます。

ボランティア活動表彰式&第5回総会

平成20年3月2日(日)

毎年2月末時点で科学館でのボランティア活動・累計活動時間の評価基準に達した会員に対して、総会時に科学館より表彰されることになっている。

今回は、700時間以上1名、500時間以上3名、300時間以上6名の合計10名が館長より達成時間バッチ、感謝状ならびに記念品が授与された。なお前年度は6名が対象者であった。

今回で5回目の総会を迎えることになり、科学館から館長はじめ幹部の出席をいただき出席者39名、委任状提出者58名(合計97名)によって開催された。

各担当役員より平成19年度活動報告、平成20年度活動計画ならびに役員選出について説明があり和やかな中、すべて原案通り承認され終了した。

19年度は、22階展望ロビーに待望のボランティアコーナを設置し、案内グループが主体となって活用することになったこと、鉄道フェスティバルには新幹線展示が新たに加わり期待通りの人気を誇ったこと、科学グループは出張活動(館外活動)の主役として年度末まで引っ張りだこの要請に積極的に応じ、前年度を上回る活躍であったこと、天文グループは県内初の星空案内人(星のソムリエ)に3名も認定される快挙をアピールし、各地で開催の写真展が好評であったなどなど、活動の質と幅が飛躍した年であった。

20年度も新しい企画がたくさん計画されています。科学館と共に市民の皆さんとの出会いを通して生涯学習ボランティア活動を楽しみましょう。

(久野 功)



★『S.P.Vつうしん』発行予定 第18号 9月中旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……ふれあい科学館 TEL 024(936)0201まで

編集あとがき(1)

※月周回衛星「かぐや」が撮影した「満地球の出」に大感動!! 私は美しい地球に住む宇宙人!!(星)

※皆さんに褒められてその気になって今年初めて役引き受けました。よろしくお願ひします。(池)

※新しい紙面作りにチャレンジしたい広報部です。何かアイディアをお持ちの方、館までゼビゼビ連絡を!!(椎)

※S.P.Vつうしんは創刊以来、皆様のご協力により、第17号まで届きました。これからも宜しくお願ひいたします。(国)

